

## 第16回気仙沼市震災復興推進会議について(開催概要)

1 日 時：平成28年1月27日(水)午後2時～午後3時

場 所：気仙沼中央公民館 会議室

出席委員：37名(代理を含む。欠席5名)

### 2 議事内容

- ・復旧・復興事業の進捗状況について

### 3 主な質疑等

- ・JR気仙沼線のBRTによる復旧の検討が進められていることと思うが、それに伴う気仙沼駅周辺の地域振興策について、市としてはどのような施策を考えているのか伺いたい。

⇒気仙沼駅周辺については、現在も本市における交通拠点として重要な位置を占めており、市民のみならず、観光客の利用も多いことから、今後の在り方について整理していかなければならないと考えている。地域における賑わいの創出を見据え、皆様のご意見を伺いながら、地域と一緒に考えて取り組んでいきたい。

- ・応急仮設住宅の集約化について、具体的にいつ頃から実施するのか伺いたい。

⇒応急仮設住宅の集約については、昨年、応急仮設住宅集約化計画において、全体の団地の集約時期についてお示しをしたところである。計画策定から時間が経っていることから、今後入居者の住宅再建意向等を確認したうえで、仮設住宅毎の具体的な集約時期について検討を進めていく。早いところでは、地権者の都合等もあることから、今年の夏前にもご相談をさせていただきたいと考えている。

- ・仮設住宅に残る住民には、今後の災害公営住宅や防災集団移転団地の引渡し、仮設住宅の集約化に伴う入居者の入れ替わり等によって想定される様々な不安がある。今後の自治会、コミュニティのあり方も懸念される中で、市としては仮設住宅入居者に対してどのような支援を考えているのか伺いたい。

⇒仮設住宅入居者への支援としては、今後もこれまでどおりサポートセンター等により、住民に寄り添った形での支援を続けていきたいと考えている。一方で、新たな住居に移る方にも、移転先での引続きの支援について案内している。また、自治会やコミュニティの存続については、地域支援員を中心にしっかりとした対応をしていきたい。今後1,2年の間にはどの市町村でも経験がないような事象が出てくるのが想定される。そういった場合でも、しっかりと現場の声に耳を傾けながら対応に取り組んでいきたい。

- ・気仙沼市において、再生可能エネルギーの導入に積極的に取り組んでほしいと考えているが、先日、本吉地区に県内最大級の太陽光発電設備を設置する旨の新聞報道がなされた。この件について詳しい内容を伺いたい。

⇒再生可能エネルギーの導入は気仙沼市復興計画にも掲げているとおり、推進していくものであるが、本件は東京の事業者から山田地区漆原と小泉地区泉沢の山林(市有地)を借りて、太陽光発電設備を設置したいという申し出があったものである。市としては、本件における市有地の貸付けは問題がないものと認識しており、先週、地域において説明会を開催し、今後、議会等へ協議しながら進めていく予定である。なお、太陽光発電は基本的には20年間の電力買取期間が設けられており、本件は造成等を含めて23年間の借地契約となる。